

議会

だより

82

3月定例議会号

平成22年5月
発行 佐呂間町議会



今年から20床増床となったケアハウス「サンガーデンさろま」での交流会風景 4/14日撮影

議会の新体制スタート	2 P	常任委員会等の構成	3 P	
3月定例会	審議した議案	4 ~ 8 P	町長行政報告	8 P
	予算特別委員会質疑の中から	9 ~ 10 P		
	一般質問 「命のバトンの導入について」など2名の議員が質問	11 ~ 12 P		
第1回臨時会	審議した議案	13 P	町長行政報告	14 P
議会ニュース	15 P	傍聴者から声/のあとがき	16 P	



さろま

あなたと町議会を結ぶ情報誌

佐呂間町URL <http://www.town.saroma.hokkaido.jp/>

「議会だより」は再生紙を使用しています

4月から佐呂間町議会 新体制でスタート



副議長 加賀屋 修



議長 吉野 正剛

長屋議長の逝去に伴い、4月1日に開催された第2回臨時会において、議長の選挙、それに伴う副議長の選挙、さらに常任委員会、議会運営委員会等の構成が変更となり、新しい議会体制でスタートすることとなりました

行政、議会、町民が一体となる町づくりを...

議長 吉野 正剛

議長就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

4月1日に開催されました第2回臨時会におきまして、図らずも議長の指名推薦を受け新議長に就任した次第であります。

昨年10月の議会改選後、故長屋和敏氏が議長に就任されましたが、去る3月2日にご逝去され、不肖私が議員各位の指名をいただき議長に就任することになりました。

現在の地方自治は、地方分権の流れが一層顕著化しており、更には地方の自主、自立性の強化が求められており、国の政権交代により地域主権が叫ばれ地方の役割、責任の重要性が増してきていると理解しております。

本町議会の議員数は、昨年の改選期に12名から10名に削減され、更に現在は9名体制で推移しており、議員一人ひとりの責任が増大するとともに、議会を取り巻く情勢も大きな変化を生じており、議会の活性化と議員の資質の向上が求められております。

浅学非才であり知力、胆力、掌握力のどこにも秀でる部分が少ない私でありますが、行政、議会、町民が一体となる町づくりを最大の目標に、町民から信頼され議会の使命が十分に発揮できるように、円滑な議会運営を目指す所存でございますので、町民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

産業文教常任委員会

委員長	高瀬 トシ工
副委員長	小松 正義
委員	三田 真美
委員	安田 一彦

総務福祉常任委員会

委員長	佐藤 昭男
副委員長	但木 早苗
委員	船木 司
委員	加賀屋 修

議会広報特別委員会

委員長	三田 真美
副委員長	高瀬 トシ工
委員	船木 司
委員	佐藤 昭男

議会運営委員会

委員長	但木 早苗
副委員長	佐藤 昭男
委員	船木 司
委員	三田 真美
委員	高瀬 トシ工

町総合計画審査
特別委員会

委員長	小松 正義
副委員長	安田 一彦
委員	(議長を除く 議員全員)

佐呂間厚生病院に
関する特別委員会

委員長	加賀屋 修
副委員長	三田 真美
委員	(議長を除く 議員全員)

議会選出監査委員

安田 一彦

遠軽地区広域組合議会議員

吉野 正剛
加賀屋 修

第1回定例会

第1回定例会が3月9日から16日の間で開催され、平成22年度一般会計ほか7特別会計予算を審議し、原案のとおり可決しました。

・審議した議案

平成22年度当初予算総額は

68億9119万4千円 (前年比7.1%減)

一般会計は**44億903万1千円** (前年比11.2%減)

子ども手当として8,476万円を予算計上!

- 平成22年度佐呂間町一般会計予算
- 平成22年度佐呂間町簡易水道特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町国民健康保険特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町老人保健特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町公共下水道特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町介護保険特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町介護サービス事業特別会計予算
- 平成22年度佐呂間町後期高齢者医療特別委員会に付託され審議を行いました。

本会議において委員長より審査結果報告がなされ、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

予
算

審
議
し
た
議
案

平成22年度 佐呂間町各会計当初予算

単位：千円

会計区分	22年度当初予算	21年度当初予算	対前年度増減額	増減率	
一般会計	4,409,031	4,962,726	△553,695	△11.2%	
特別会計	簡易水道	485,693	460,379	25,314	5.5%
	国民健康保険	908,589	974,792	△66,203	△6.8%
	老人保健	872	872	0	0.0%
	公共下水道	239,435	245,424	△5,989	△2.4%
	介護保険	530,488	494,695	35,793	7.2%
	介護サービス事業	246,231	212,764	33,467	15.7%
	後期高齢者医療	70,855	67,187	3,668	5.5%
合計	6,891,194	7,418,839	△527,645	△7.1%	

9～10頁に掲載しています。特別委員会での質疑の内容は



第1回定例会

条例改正3件、同意案件1件、その他案件7件の審議を行い、すべて可決しました。

・審議した議案

22年度の主な事業

- ・辺地共聴施設地上デジタル改修事業
- ・姉妹都市提携30周年記念事業
- ・子ども手当支給事業
- ・任意予防接種費用助成
- ・若佐歯科診療所改修工事
- ・ごみ収集車購入事業
- ・住宅用太陽光発電システム導入事業費補助金
- ・プレミアム付全町共通商品券発行事業
- ・トイヨータイヤ販売促進事業
- ・緊急雇用創出事業
- ・佐呂間高校裏通り道路整備事業
- ・佐呂間30号道路整備事業
- ・若佐第1団地建替設計委託
- ・スクールバス購入事業
- ・浜佐呂間簡易水道区域拡張事業

条例

□特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例等の一部を改正する条例制定について

本年4月1日より「網走支庁」が「オホーツク総合振興局」に変更されることに伴い、関係する町条例5件の条文を改めるため、条例の一部改正を行いました。

□佐呂間町手数料条例の一部を改正する条例制定について

地籍図の電算化に伴い、コピー印刷から、パソコン印刷の交付に変更となるため、本年5月より地籍に関する手数料を改正するものです。

□重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について

重度心身障害者にかかる医療費の助成について、従来の対象者に加えて、新たに3級までの肝臓の機能障害のある者も対象とする改正を行いました。

同意

□網走支庁管内町村公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて

網走支庁管内町村公平委員会委員として、次の方の選任を同意しました。
紋別郡湧別町
奥谷公敏氏

その他

□網走支庁管内町村公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について
管内町村交通災害共済組合が解散すること等による規約の改正です。

□網走地方教育研修センター組合規約の一部変更について
支庁制度改革により「網走支庁」が「オホーツク総合振興局」と変更になるための規約改正です。

□北海道市町村総合事務組合規約の一部改正について

□北海道市町村職員退職手当組合規約の一部改正について

□北海道町村議会議員公務

災害補償等組合規約の一部改正について

道内における地方公共団体組合の解散脱退及び名称変更等により関連する規約が改正となりました。

□悠林館「かぶとむし」に係る指定管理者の指定について

悠林館「かぶとむし」の指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

・指定する指定管理者
網走郡津別町字相生
株式会社愛生の社
代表取締役 大石 税
管理を行わせる期間
平成22年4月1日から
平成32年3月31日

□物産館「みのり」に係る指定管理者の指定について

物産館「みのり」の指定管理者の指定を次のとおり議決しました。

・指定する指定管理者
佐呂間町字浪速
株式会社ドリームフロンティア
代表取締役 高橋俊道
管理を行わせる期間
平成22年4月1日から
平成32年3月31日

第1回定例会

平成21年度一般会計ほか6特別会計の補正予算及び専決処分（補正予算）を原案のとおり可決しました。

・ 審議した議案

： 平成21年度各会計補正予算：

**地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業として
約1億6000万円、28件の工事を予算化!!**

□平成21年度佐呂間町一般会計補正予算（第9号）

2億6906万9千円が追加され、予算の総額が56億765万2千円になりました。

【主な歳入】

・ 普通交付税

3億1716万8千円

・ 地域活性化・公共投資臨時交付金

808万3千円

・ 地域活性化・きめ細かな臨時交付金

9234万7千円

・ 水産業振興構造改善事業費補助金

1162万9千円減

・ 財政調整基金繰入金

1億900万円減

・ 減債基金繰入金

2000万円減

・ 各公共施設整備基金繰入金

4700万円減

・ 国鉄湧網線代替輸送確保基金繰入金

1200万円減

・ 前年度繰越金

8692万6千円

・ サロマ福祉会ケアハウス増築事業費債

1350万円減

【主な歳出】

・ 各公共施設整備基金積立金

2億500万円

・ 地上デジタルテレビ中継局整備工事

862万5千円減

・ 後期高齢者医療費療養給付費負担金

752万7千円減

・ 新規就農者奨励補助金

562万円

・ 漁港修築事業地元負担金

521万3千円減

・ 水産業振興構造改善事業補助金

1261万7千円減

・ 住宅建設促進事業費補助金

523万円減

・ 悠林館外壁等塗装工事

503万円

・ 町道武士39号道路舗装補修工事

540万円

・ 西富公営住宅物置設置工事

722万4千円

・ 佐呂間小学校駐車場舗装工事

1725万2千円

・ 武道館・温水プール屋上防水工事

1700万円

・ 佐呂間町簡易水道特別会計繰出金

874万円

□平成21年度佐呂間町簡易水道特別会計補正予算（第6号）

2748万円が減額され、予算の総額が4億5252万円になりました。

【主な歳入】

・ 雑入

704万2千円

・ 簡易水道配水管布設工事費債

3880万円減

【主な歳出】

・ 浜佐呂間簡易水道区域拡張工事

2170万円減

□平成21年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

9500万2千円が減額され、予算の総額が8億8806万9千円になりました。

【主な歳入】

・ 療養給付費等負担金現年度分

4402万6千円減

・ 普通調整交付金（国庫補助金）

3264万3千円減

・ 療養給付費等交付金現年度

131万5千円が減額さ

□平成21年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算（第5号）

131万5千円が減額さ

分 1484万7千円減
 ・ 療養給付費等交付金過年度分 1345万2千円
 ・ 普通調整交付金（道補助金） 578万3千円減
 ・ 高額医療費共同事業交付金 2331万2千円減
 ・ 国保事業基金繰入金 1000万円減
 ・ 療養給付費等交付金繰入金 583万9千円
 ・ その他繰越金 2559万円
 【主な歳出】
 ・ 一般被保険者療養給付費負担金 8024万3千円減
 ・ 一般被保険者高額療養費負担金 1056万7千円減
 ・ 保険財政共同安定化事業拠出金 965万2千円減
 ・ 国庫負担金等返還金 583万9千円

□平成21年度佐呂間町老人保健特別会計補正予算（第2号）

232万8千円が追加され、予算の総額が476万5千円となりました。

□平成21年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算（第5号）

131万5千円が減額さ

第1回定例会

・ 審議した議案

れ、予算の総額が2億5977万3千円となりました。

□平成21年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算

(第4号)

875万1千円が減額され、予算の総額が4億8940万8千円となりました。

【主な歳入】

・ 介護給付費交付金現年度分

794万9千円減

・ 介護給付準備基金繰入金

542万2千円減

・ 前年度繰越金

1163万1千円

【主な歳出】

・ 居宅介護サービス給付費

1715万1千円減

・ 介護給付準備基金積立金

722万円

□平成21年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

292万4千円が減額され、予算の総額が6426万3千円となりました。

【主な歳入】

・ 現年度分特別徴収保険料

1381万8千円減

・ 現年度分普通徴収保険料

1246万1千円

□専決処分の承認を求めることについて

平成21年度佐呂間町一般会計補正予算(第8号)の専決処分について承認しました。

予備費充当につき、歳出予算の総額に増減なし。

(主な歳出)

・ 議会葬に要する経費

300万円



議案・補正予算 質疑の中から

◎佐呂間斎場について

【質】佐呂間斎場について今後

修理の計画はあるのか。

【答】今回の耐火物の張替え工事により火葬炉は10年以上は大丈夫とのこと。

ただ建物は平成3年建設で年数も経過しており、もし無煙装置等の修理が必要となった場合相当高額となることから、どこかの段階でかかる経費をお知らせしたいと考えている。

◎キムアネップキャンプ場について

【質】キャンプ場の利用者数と休憩所の管理はどうしているか。

【答】平成20年度のキャンプ場の利用者は1687名で、管理人が6月から9月下旬頃まで常駐している。

◎特定検診について

【質】特定健診の健診率は23.4%とのことだが、これは高い数字なのか。

【答】管内的には中の下ぐらいの健診率だと思うが、保健事業や教育委員会の健康に関する事業等ともタイアップし、健診率向上を含め健康づくりを進めたい。

◎悠林館の指定管理者について

【質】悠林館の指定管理者の公募は公正だったといえるのか。

また管理の期間も前は5年だったものが、今回は10年に変更となったが、これは長くないのか。

【答】今回の悠林館の指定管理者の公募については、株式会社「愛生の社」の民事再生の絡みがあったのは事実だが、過去5年間の悠林館での経営実績を踏まえての選定である。

民事再生計画は、顧問弁護士と公認会計士もついており、10年間の再生計画である。この10年間をきちっと経営をやりながら、再生債権を弁済していくという事で、その間、会社を立派に立て直してもらいたいと考えている。大石社長の佐呂間町にかけ

第1回定例会

意見書1件を可決し関係省庁に提出しました。

町長より行政報告がなされました。

- ・ 審議した議案
- ・ 町長行政報告

意見書

□食料供給力の確保に必要な農業生産基盤整備の促進を求める意見書の提出について

国は、平成22年度農業関係の予算編成において、戸別所得保障制度のモデル対策費に予算を重点配分する一方で、農業農村整備事業費を大幅に削減した。

今後とも地域農業・農村が持続的に発展し、農業者が意欲をもって食料を安定的に生産できる条件を確保していくために、必要な予算枠の確保等を関係機関に要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係省大臣宛に提出しました。



町長行政報告

(要旨)

□遠軽厚生病院の診療体制について

去る2月24日に遠軽町長及び湧別町長とともに北海道厚生連本部を訪問した折に、遠軽厚生病院の脳神経外科の診療体制について報告を受けました。

遠軽厚生病院の脳神経外科の診療は、現在4月以降の常勤医師の確保ができない状況にあり、脳卒中や脳梗塞などで脳神経外科に入院している患者については北見市などの専門医のいる病院に転院していただき、新規の入院を受け付けない状況とのことであります。

4月からは、火曜日と金曜日の週2回のみ旭川医大から医師の派遣を受け、外来患者に対する診察は継続していく

とのこと。

今後については、常勤医師の確保に全力を尽くすことに加え、将来にわたって遠軽厚生病院から脳神経外科を絶やさないためにも、たとえ週2日の診療でも継続することが必要とのこと。

これによる医師の確保には莫大な経費がかさむとのこと、この経費について遠軽町・湧別町・佐呂間町3町の協力を願いたいとの要請がありました。

3町長からも遠軽地区の脳神経外科は遠軽厚生病院が唯一の診療機関であることから、脳疾患患者の救急医療確保のため、早急な常勤医師の確保を要請しました。



第2回定例会は6月に開催されます!!

日程の詳細は、町広報6月号の折込みチラシをご覧ください。



第1回定例会

予算特別委員会の質疑の主なものを要約し掲載しました。

・ 予算特別委員会質疑の中から

予算特別委員会質疑の中から

総務費

(質) 中古公用車の購入車種は決まっているのか。

(答) 車種は決まっていないが、購入の基準は使用後3年以下で3万キロ未満のものを考えている。

(質) 広報の折込に基準はあるのか。

(答) 折込するものは公的なものとし、民間のものは断っている。ホテルルートインのチラシは、町民入浴券の助成事業の関連もあり公的扱いとして折り込み許可をした。

(質) 管内総合開発期成会とはどんなものか。

(答) 網走管内の市町村長及び市町村議会議長を会員として組織し、主に管内の総合開発の推進のために国、道へ要請活動をしている。

(質) 住基ネットの備品購入費

とは何か。

(答) 公的個人認証機器が5年の耐用年数を経過したので総務省の指導により、今回機器を更新する。

(質) ハザードマップがようやく出来上がったが、これを配布するだけではなく、町民に実行させるように指導すべきかと考える。

(答) このハザードマップは自治会を通じ配布したが、目を通してもらうことはもちろん、要望があつた地域とか団体には出向いて説明したいと考える。

防水マップは洪水と津波の2種類に分かれており、例えば津波は4地区となり、災害の項目によって別々な地域に

民生費

(質) 老人の健康に対するの運動とか病気を予防する事業はどこでやっているか。

等

(答) 社会教育やスターで健康運動指導をやってるし、保健福祉課の中でも介護保険や衛生費に予算を組み健康運動指導士を講師として使ったり、保健師がそのつど寿大学や老人クラブにも出向いて指導している。

新聞に載るような新しい運動や体操とかを作ったわけではないが、健康教育に関しては他の町村に負けない事業を展開していると思ってる。

(質) 発達支援専門員はどこから来ているのか。また専門員の指導を受ける対象者の人数は。

(答) 発達支援員については、遠軽の母子通園センターが佐呂間町の発達支援センターという位置づけで、委託契約により1名が派遣されてきている。

業務は、保育所の中で子どもの様子を観察したり、乳幼児事業等で母親からの相談を受けたり指導したりしている。平成20年度の相談の件数は33件となっている。

衛生費

(質) 住宅用太陽光発電システムの補助金は地元業者のための事業と思うが、地元業者が発注を受けても大手メーカーに頼らなくても済む様な手立が必要では。

(答) 太陽光発電のパネルは専門業者から仕入れるが、施工については現在町内の5業者が手を上げている。

このうち4社はすでに施工業者の認定となる施工IDを取得しており、残りの1社も6月に取得予定であり、地元業者でも施工はしっかりやってもらえると考えている。

(質) ゴミ収集車の新車購入に伴い、現在使っている車はどのくらい残っているのか。

(答) 今あるパッカー車については、公募によって売り払いたいと考えている。入札の形になると思うが、すでに16年使用しており、減価償却としては5%が残ると

第1回定例会

・ 予算特別委員会質疑の中から

農林水産業費

(質) 林業界は厳しい状況となつて、後継者も少なくなつてきているが林業界の現状は

また、本町の町有林民有林の整備は。

(答) 造林業は現在横山造林と渡辺林業の2社で、後継者不足は問題となつている。森林組合は他町は合併となつたが、佐呂間は単独であるが、合併再編の動きも出てきている。地元の企業を利用するよう宣伝しているが、厳しい状況である。

民有林については補助事業で今年は45ヘクタール、町有林は昨年皆伐した跡地2ヘクタールほか朝日の牧野跡地等の造林の行つ。

(質) 北海道マリノビジョン21とはどういふものか。

(答) 北海道全体でマリノビジョン21推進モデルを作っており、サロマ湖は1市2町、3漁協で佐呂間湖漁港を核として、地域の産業に関連していくという組織である。

(質) プレミアム付商品券は

買えない方もいるが、今までと

じ方法で続けていくのか。

(答) 元々は弱者、佐呂間以外に買い物に行けないという方に使ってもらいたいという考えもあつて始めたものである。

5年間は続けたいと考えるし、まだ2年目なのでこのやり方がベターとは思っていないが、去年の成果とアンケート

土木費

(質) 除雪により縁石が壊れている箇所の補修は。

(答) 雪解けのパトロールの中で確認して春先に直すようにしており道路の維持管理費

教育費

(質) 学校図書は交付税は十分

使われていないと聞くが。

(答) 予算を組んでいるのは交付税算定の50%程度で、不

足分は町立図書館があるので、そこで学校で使うような図書も購入しており、BM車

なりで補充しているが、要望がある分については、少しずつ充足していきたい。

(質) 学校給食用のトレイを今回購入するが当初計画で予

測

できなかったのか。

(答) 当初は食器回収時に、残飯を別の容器にあげて回収するので大丈夫と考えていたが、実際は残飯をよけた後でもしずくが垂れてしまい、衛生的にも良くないという事

国民健康保険

(質) 国保税の減免申請をし

た

方はどれくらいいるか。

(答) 過去に災害で減免はあるが、会社が倒産して働けなくなったとかの経済困窮に対する減免は本町では1件もない。

(質) 町民一人当たりの医療費は。また、それは近隣町村と

比

べて高いものか。

(答) 国保の中一番加入者数

が多い一般被保険者でいくと、入院、外来、歯科、調剤合わせて一人当たり14万円弱となつてはいるが、入院費にはさらに3200円程度の食事療養費が別にかかつてはいる。元々本町の医療費は高い分類にあつたので、全道的に見

後期高齢者医療

(質) 今回、保険料の見直しで4.99%上がることだが金額的にはいくらか。また保険

料の滞納はないのか。

(答) 4.99%は軽減を受けた後の上げ幅で、年額で3102円となつてはいる。

保険料については、北海道広域連合の部分は把握していないが、本町に関しては今までのところ滞納はない。

ただ、期別毎では納入を忘れて遅れる方はいる。これは新たに後期高齢者の対象になつて、すぐに年金から引き落としとならないため、自分で現金で納めなければならぬ分を天引きされると勘違いしてしまつたために起こるも

第1回定例会

2名の議員が町政全般にわたり理事者の考えを質しました。

・一般質問

一 般 質 問



但木早苗 議員

救急医療情報キット

「命のボタン」の導入について

【質問】

高齢者のひとり暮らしや高齢世帯が年々増加している中で、かかりつけ医や持病、薬剤等に関する情報を筒状の容器に入れ自宅の冷蔵庫の中に保管し、玄関には命のボタンがあることを知らせるシールを貼ることで、救急車で搬送される際いち早く医療情報が把握され迅速な処置ができるというものです。

【答弁】（町長）

救急医療体制及び高齢者対策として、安全で安心な生活

命のボタンの導入を

考えているか！

町長へ先行している事例を参考に

研究していきたいと考える。

を送る上で大変参考になる事業の一つであると認識しておりますが、冷蔵庫に保管した情報が古いままでは適切な処置を受けることができない等の管理面でのこともありますので、先行している事例等を参考にしながら実施に向けて研究してまいりたいと考えております。

また遠軽地区広域組合消防全体で取り組むことがより効果的と考えております。

集落支援員の

設置について

【質問】

このことは町民アンケートで要望の多かった事項であり、緊急要望書として町長に提出しているものです。

担当職員などと連携して集

落を定期的に巡回、点検し、地域住民と話し合いながら地域活性化対策を提言、助言する人として集落支援員が位置づけられ、支援員を雇用する市町村には特別交付税の配分が見込まれております。

多くのお年寄りは、住み慣れた町で生涯暮らしたいと思っているのではないのでしょうか。この取り組みはお年寄りが安心して安全な地域での暮らしを保障するとともに、雇用を生むことにもなります。支援員の配置についての考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

本町の集落においては、各自治会組織が確立されており、更には民生児童委員やボランティアも含めて活動しています。

こちらの方に手を差し伸べながら、地域を守ってもらおうという形が一番理想と考えています。

【質問】

自治会の方がしっかり対応していただいていることはわかりませんが、自治会と新しい力を一緒に連携しながら支援していくという新しい形として考えても良いのではないかと、町長の考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

お年寄りの方々の苦情や相談のためには人を呼ぶのもいいと考えますが、支援員を仮に導入した場合に、今の自治会関係が崩壊する。

要するに自治会で今一生懸命支援いただいているという事で考えており、こつという問



第1回定例会

・一般質問

質問項目「新サロマトンネル内の危険防止について」は、紙面の都合により掲載を省略します。



高瀬 トシエ 議員

超高齢化社会に 対応する福祉の あり方について

【質問】
本町の人口の32%余り（1930人）が高齢者であり、更にその54%が後期高齢者という現状にあつて、高齢者福祉の充実こそが行政サービスの「要」であると考えます。例えば生活習慣病の有無、ペースメーカーや透析、末期ガンや認知症、食事や歩行、引きこもりや身辺の整理、お金の管理や家族関係、連絡先の確認など、地域のお年寄りの生活実態を把握し、生活や健康へのアドバイス、災害や救急対応、福祉バスの窓口情報として、「見守り安心マップ」的なシステム作りが重要と考

えますが、いかがでしょうか。
また、わかりやすい福祉情報の提供についても伺います。
【答弁】（町長）
高齢者が地域で安心して暮せる福祉体制の整備は私も行政の重要な課題と位置づけております。
予期せぬ自然災害のこともあつて、平成19年には町職員における地域担当員制度を発足させており、災害時等の支援要綱を策定し、自治会及び民生委員との連携のもと、自主避難が困難な高齢者や障害者を含め、安全かつ確実に避難できるよう災害時要援護者台帳への登録（22年1月現在で299世帯、うち一人暮らし178世帯）を進め体制の強化を図っております。
また、喫緊の課題として、い

かなる時も通院しなければならぬ透析治療や肝炎、他の難病指定の方々には、長時間治療に加え、過度の経費負担とならぬよう何らかの支援の輪を広げるべく、本年中に対策を講ずるよう検討してまいりたいと考えています。
なお、福祉制度等の情報発信については、介護保険制度によるサービスの提供が主流であり、要介護認定者が370人となる中、要介護状態にならぬよう、ケアマネージャーや関係者が熱心に細やかな情報提供と相談体制に取り組んでおりますのでご理解願います。
【質問】
年金暮らしの高齢者にとって、施設への入所料金は大きな課題であり、厚生年金と国民年金では収入格差が大き

く、国民年金収入では福祉施設への入居が厳しいのが現実です。しかし、入所を必要とする町民が等しく入居できる施設であることが望ましく、ひとりある人だけに開かれた福祉であつてはなりません。
お年寄りが安心して老後を暮せるような支援策を是非お考えいただきたいのですが。
【答弁】（保健福祉課長）
国民年金でまかなえない場合に施設入居費（部屋代）として2万4千円までが生活保護でみられる金額になります。
町単独での個人的支援はパランス的に難しい面もありませんので、現在の収入では施設に入れないという場合は、やはり国の制度である生活保護で救済すべきと考えます。
高齢者に限らずで生活保護で入所している方もおります。
申請については、私どもに



第1回臨時会

第1回臨時会が2月17日に開催され、一般会計補正予算のほか3件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案

第1回臨時会 2月17日開会

遠軽厚生病院のMRIの機器更新等にかかる補助金として752万円を計上!!

予算

□平成21年度佐呂間町一般会計補正予算 (第7号)

6587万3千円が減額され、予算の総額が53億3858万3千円になりました。

【主な歳入】

・町民税(特別徴収) 2901万円

・固定資産税現年度課税分 1480万4千円

・子育て応援特別手当交付金 485万1千円減

・土地・建物売払収入 464万3千円

・財政調整基金繰入金 1億1100万円減

・遠軽厚生病院医療機器等整備事業費債 750万円

【主な歳出】

・議会議員に要する経費 390万4千円減

・障害者自立支援費 500万4千円減

・子育て応援特別手当 426万6千円減

・遠軽厚生病院医療機器等整備費補助金 752万5千円

・公共牧野に要する経費 639万2千円減

・町有林整備事業に要する経費 499万2千円減

・町道維持補修及び除雪に要する経費 1437万9千円

・遠軽地区広域組合負担金 1014万円減

・武道館温水プール燃料費 448万9千円減

・佐呂間町公共下水道特別会計繰出金 1270万円減

・佐呂間町介護サービス事業特別会計繰出金 635万円減

□平成21年度佐呂間町公共下水道特別会計補正予算 (第4号)

財源変更により、歳入歳出予算の総額に増減なし。

□平成21年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算 (第3号)

240万円が減額され予算の総額が2億1410万円になりました。

【主な歳入】

・特別養護老人ホーム利用料 300万円減

・一般会計繰入金 635万円減

・前年度繰越金 695万円

【主な歳出】

・燃料費 240万円減

条例

□佐呂間町新規就農者誘致に関する特別措置条例の

一部を改正する条例制定について

新規就農者誘致に関する特別措置条例の一部改正については、12月定例会で産業文教常任委員会に付託されましたが、1月25日開催の委員会審査では原案可決と決定され、本会議においても可決となりました。

意見書

□平成22年度酪農畜産政策価格対策に関する意見書の提出について

北海道の酪農・畜産については、取引乳価の引き上げがあったものの、配合飼料価格の高止まり、枝肉価格の低迷、生乳需要の緩和など、依然として楽観視できない状況にあり、生産現場等における取組みをより円滑に進めるため、酪農畜産農家に対する所得保障対策、生産基盤対策、資金対策等について要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係省大臣宛に提出しました。

第1回臨時会

・町長行政報告

町長行政報告 (要旨)

□佐呂間厚生病院について

2月2日、吉野副議長、厚生病院に関する特別委員会の加賀屋委員長、及び保健福祉課長と私で北海道厚生連を訪問し、奥野代表理事会長に医師の確保問題など意見交換を行いました。厚生連が運営する多くの病院で医師の募集を行っているものの、全国的な医師不足の状況から応募者がいない状況とのことであります。

また、3月退職の安尾医



師の後任医師については、最優先に取り組んでいるところですが、現時点では難しく、後任医師が赴任するまでの間は、週ごとに派遣された医師により診療を続けることとなります。

次に厚生病院の改築についてであります。建設から38年を経過した病院の建替えは住民の念願であり、現在規模の運営維持を北海道厚生連に担っていただきたいことや、国保病院から厚生連に経営委託して50年となる平成24年には改築工事に着手したいと考えており、今後2年間のスケジュールや計画検討についての要請に対して、奥野

会長からは、全国的な医師不足問題や経営損失に対する住民負担への危惧、適切な規模や公設民営のあり方についての認識が示され、今後とも継続協議を行うことにいたしております。

□「(株)愛生の杜」の民事再生申し立ての経過について

悠林館指定管理者「(株)愛生の杜」の民事再生については、「悠林館」及び「らー麵てん馬屋」の2施設での再建を図ることで再生計画を立案し、裁判所に提出することの経過は10月の臨時会で説明報告致したところです。

その後、債権者の書面決議により過半数の賛成を受け、12月16日に裁判所より再生計画を認可する決定がなされ、即時抗告期間を経過した本年1月20日に認可決定の確定となりました。

再生計画では、債権の1割を最長10年で分割弁済する内容で、弁護士監督委員のもと再生計画に基づき再建を図っていくこととなります。

議会を傍聴してみませんか!!

第2回定例会は6月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



議会ニュース

佐呂間町議会葬として3月5日、6日に故長屋議長の通夜、葬儀が執り行われました。



最後まで本会議出席に向けて
頑張っていた長屋和敏議長
…安らかに眠りください…

長屋議長が3月2日に逝去され、佐呂間町議会葬として吉野副議長が葬儀委員長となり3月5日通夜、翌6日に葬儀が執り行われました。

長屋議長は、平成5年佐呂間町議会議員に初当選。以来連続当選され、平成17年から副議長、平成21年からは議長に就任され、その卓越した手腕と豊富な見識をもって議会運営に熱意を注がれた、その苦勞に対し心からお礼申し上げます。

また、その功績が認められ平成18年管内町村議長会表彰、平成21年全国町村議会議長会自治功勞表彰、北海道町村議会議長会自治功勞表彰を授与されております。

ここに生前のご功績を称え、心から追悼の意を表すとともに、謹んでご冥福お祈りいたします。



長屋議長の逝去に伴い3月9日に開催された第1回定例会にて、長屋議長の議席に供花が置かれる中、小松正義議員会会長による追悼演説が行われました。
さらに出席者全員による黙とうを行い、長屋議長のご冥福をお祈りしました。

傍聴者からの声



西富 井上孝一さん

「議会傍聴記」

3月9日、22年第1回定例議会傍聴の機にあり、数年ぶりに議場に臨む。

一番後列にある議長席「長屋和敏」の表札は倒れたまま空席となつている。主のいなくなつたデスクには白い菊の花が飾られ虚しい。

10時開会に先立ち、小松議員より3月2日に逝去した故長屋議長の追悼演説があり合わせて黙祷が行われた。

町の人口減に伴い議員定数も10名に減り、広い議場には議長・副議長を除き8名の議員が悠々と席を占有するも主のいない空席が目立ち、いと寂しき感あり。

めて議会傍聴で激励し、それが勉強の機会を作るべきである。

22年度の一般会計予算が45億円で、前年対比11%減、特別会計25億で1%増、合計69億円で7%の減、遠軽厚生
の脳神経外科医減員、佐呂間厚生内科医不在対策等、大きな問題が残るを知る。

又、聞きなれない「命のバトン」「集落支援員」など、日頃耳にしない言葉や介護施設の入居と経済関係等、多くの諸問題を研究することなくいたずらに敬遠し、難しい問題には背を向ける習性が身についた私たち、大いに反省をさせられる一日であった。

今後とも、議会傍聴を通して大いに勉学を深め、老後の教養と人格形成に役立てたい。



議会だよりに対するご意見・ご感想をお寄せ下さい！

----- 議会事務局宛て -----
TEL 2-1291

Eメール

gikai@town.saroma.hokkaido.jp



あとがき

「サロマ湖近況」

今年のサロマ湖内の氷の張り具合は、当初は暖冬で張らないのではないかと思つていた所、一月末から冷え込み全面結氷となり一安心した次第でした。

しかし、その結氷の期間が短いものとなり、その影響が出なければよいのですが、自然界の事は我々の予測不能の場合も多くあり、やはりその時期その時期に起こるものがないとその一年が心配になってきます。

特に自然と向き合つて生活している私達には、気がかりなことです。

子供の頃は、今の状態になることを誰も考えなかつたはずなのに、50年後はオホーツク海に流氷がなくなるのではと予測する人もいます。

サロマ湖の氷も張らないのが当たり前になるのかも…。

この湖を良い状態で後の代まで残してあげなければならぬと思ひます。

(船木 司)